

領収書

平成30年2月16日

早川 貴光 議員

金額
(消費税込)

1,430円

第2回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成29年11月16日、17日、18日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

鈴木 靖宏



領収書

毎度ありがとうございます

早川 貴光 様

[別納引受]	
ゆうメール特別	
⑧82	1,301通
	県外
	¥106,682
小計	¥106,682
郵便物引受合計通数	1,301通
課税計	¥106,682
(内消費税等	¥7,902)
非課税計	¥0

合計	¥106,682
お預り金額	¥110,000
おつり	¥3,318

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
取扱日時：2018年3月30日 20:00
担当：川島 一則 端P93箱06
発行No.180330A0160
連絡先：佐野郵便局
TEL:0283-23-2421

領収書

2/4



日付: 2017年7月16日

領収書番号: R-1707145915

早川貴光 様

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F

tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥20,110-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1707145915-01	(政務活動News_vol.1) チラシ・フライヤー,A3,両面カ ラー,光沢紙(コート),標準: 90kg,折り加工: 2つ折り(セン ター折り)	2,500部	2017年 7月16日	¥21,780

注文内容:	商品:	¥21,780
	データチェックお急ぎ便:	¥460
注文合計:		¥22,240
キャンペーン値引き:		¥-3,620
消費税:		¥1,490
ご請求合計金額:		¥20,110

お支払い方法: クレジットカード

広報費

3/4

領収書



日付: 2017年11月23日

領収書番号: R-1711217831

早川貴光 様

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F

tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥21,395-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1711217831-01	(政務活動News_vol.2) チラシ・フライヤー,A3,両面カ ラー,光沢紙(コート),標準: 90kg,折り加工: 2つ折り(セン ター折り)	3,000部	2017年 11月23日	¥23,470
	注文内容:		商品:	¥23,470
			データチェックお急ぎ便:	¥460
	注文合計:			¥23,930
	キャンペーン値引き:			¥-4,120
	消費税:			¥1,585
	ご請求合計金額:			¥21,395
	お支払い方法:			クレジットカード

4/4

領収書

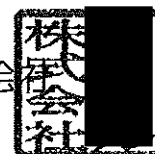


日付: 2018年3月29日

領収書番号: R-1803223264

早川貴光 様

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F

tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥21,956-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

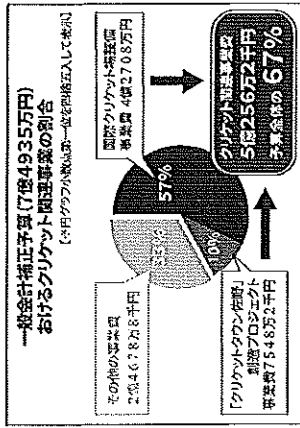
ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1803223264-01	(政務活動News_vol.3) チラシ・フライヤー,A3,両面力 ラー,光沢紙(コート),標準; 90kg,折り加工: 2つ折り(セン ター折り)	3,000部	2018年 3月29日	¥19,870
	注文内容:		商品:	¥19,870
			データチェックお急ぎ便:	¥460
	注文合計:			¥20,330
	消費税:			¥1,626
	ご請求合計金額:			¥21,956
	お支払い方法:			クレジットカード

注目! クリケットの聖地! 議案 「クリケットタウン佐野」

一般会計補正予算における 佐野市クリケット事業について

今回の注目議案はスバリ! 全会一致で採択されました議案第91号平成29年度佐野市補正予算書における、一般会計補正予算(第2号)部分のクリケット関連事業について取り上げます。

1. 全会一致で採択された補正予算と オンリーワンの「クリケットタウン佐野」



歳入歳出予算の補正として一般会計予算の総額を歳入歳出それぞれ7億4935万円(ここが一般会計における補正の部分)を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ47億4733万23万2千円とすること。

そのうちの佐野市のクリケット関連に費やすお金が、国際クリケット場整備事業費(旧田沼高校を日本唯一の国際クリケット場として整備)として4億2708万円、「クリケットタウン佐野」創設プロジェクト事業費(クリケットの佐野を日本ならびに世界へPRし、日本における「クリケットの聖地」を目指す)とともに、クリケットを通じて様々な分野で投資活動を誘発させながら、産業を

編集後記

市議会議員として初の定例会を経験して感じたことがあります。まず、私自身は市民の代表として質問をする時に、内容の詳細を確認した上で質問することはもとより、その内容を市民の皆様には「わかりやすく」伝えることを前提にしなければなりません。そして市が今何をしているのかを住民の舌先に「わかりやすく」発信発信を議員自

LINE/Twitter/facebook/ブログQRコード参照 URL http://takamitsu.info

性化させ、地域の発展を目指すプロジェクト)に7548万2千円、合算すると、5億256万2千円となります。なお、補正予算全体のクリケットに關する事業費の占める割合は非常に高くおおよそ67%となっています。



写真は7月よりすでに収容が始まっている旧田沼高校運動場跡地

2. 日本の「クリケットの聖地」 佐野市を表現するために

市としても児童にクリケットを体験してもらおうといった試みもすでに行っており、長期的視点も考慮しながら、クリケットの振興を推進しているようです。完成すれば、日本で唯一の国際競技場になることから今後は発展が期待されます。

ちなみに、クリケットは日本での知名度は低いものの、競技人口を世界規模で見ると、TOP3に入るとのこと。そのことから私も、インバウンド事業を強化し相乗効果を狙いながら誘客、集客をして地域の発展に繋げるべきと考えます。決して安くはない税金を投入して行う事業です。歳入に貢献した私たち議員は責任を持ってチエックし、成功を収めるように具体的な施策の提案を行わなければなりません。

なお、紙面スペースの都合上、詳しい内容はブログに掲載しますので是非ご覧ください。

身が率先して行うこと。これらの活動を地道に行う事が選手活動の基本と改めて感じました。

また、記事作成にあたり、紙面に限りがあったり、記事内容は要約せざるを得ません。そのため、ブログ(http://takamitsu.info)や、SNSで、より詳細な記事掲載しています。ネットがない! 閲覧できない! という方は、私が直接お問い合わせいただけますのでぜひお問い合わせ下さい。

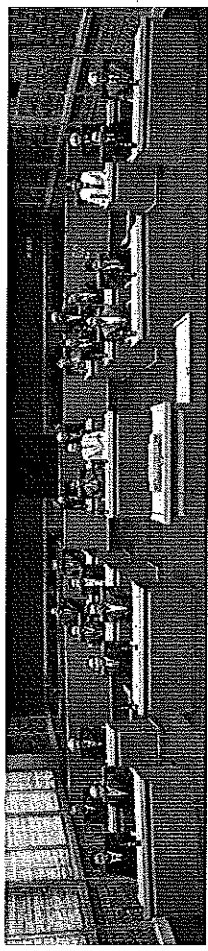
政治活動 News

市長と市民の架け橋 早川たかみつ

佐野市議会議員

TEL:027-233-2200 FAX:027-233-2911

2017年6月22日~6月16日開催! 平成29年第3回定例会(6月議会)報告



【写真20から22名になった佐野市議。定数減は議員外中央に2名の座席があつたそうです。私は議員外の内から3番目に着席。】

さらに、注目議案として経済文教常任委員会でも審査されました。佐野市のクリケット関連の事業に關して記事が4面で掲載されています。

各種委員会が日程通り終了。その後、6月16日の本会議において、紹介した議案については全会一致で議決され、第3回定例会(6月議会)は閉会しました。

なお、全ての議案については、佐野市議会ホームページにて閲覧できます。(赤い付箋参照)

定例会に提出された議案の閲覧方法

- 1 「佐野市議会ホームページ」で検索
- 2 検索結果の一覧上にある「各議案の概要」をクリック
- 3 本会議の項目の「詳細検索」をクリック
- 4 平成29年の「第3回定例会」をクリック
- 5 議案等の件名と内容が表示されます。



クリックは「ホームページ」をクリックし、各議案の概要が表示されます。

付託された重要案件

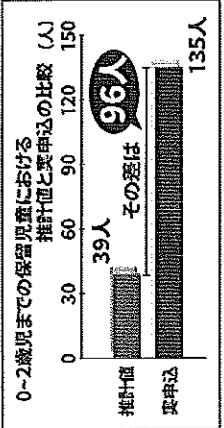
- 第81号 佐野市個人情報保護条例の改正について
- 第82号 佐野市学校設置条例の改正について
- 第83号 佐野市図書館条例の改正について
- 第84号 佐野市図書館条例の改正について
- 第85号 佐野市作楽野外活動施設条例等の改正について
- 第86号 佐野市都市公園条例の改正について
- 第87号 土地の処分について
- 第88号 橋本後継高師舎医務施設連携協定の発注について
- 第89号 市道路線の認定について
- 第90号 市道路線の発注について
- 第91号 平成29年度佐野市一般会計補正予算(第2号)
- 第92号 平成29年度佐野市国民健康保険特別会計(事業活動)補正予算(第1号)

Pick up >>> ちょっと気になる!! 一般質問

「子育て政策」佐野市における 保留児童の問題について

飯田議員の一般質問より内容を要約

1. 佐野市の保留児童の現状について
こども福祉部長より、保留児童数は平成29年4月1日現在で140人という回答がありました。



上記グラフの通り、0-2歳児までの保留児童数を39人と推計したところ、実際には、135人の実申込があり、96人の差が生じ、予定を大幅に上回ったこと。申込数も第1次申込476人が第3次申込数では579人となり、前年度比では66人増えているそうです。

想定を大幅に上回った要因としては、国の待機児童対策がマスコミ等に取り上げられ、保育施設の必要性について市民意識が高まり、保育の需要が喚起された為と思われると説明がありました。特に0歳児のみが増加し、申込理由が求職活動、就労予定者が増加しており、母親の就労意欲の向上や、家庭から施設での保育へと移りつつあるといった傾向が伺えるとのことでした。

公立小中学校のトイレの 洋化の現状について

菅原議員の一般質問より内容を要約
平成28年4月11日時点で佐野市の公立小中学校(校舎、体育館、屋外トイレ等を含む)トイレの洋化率は29.9%とのこと。[右グラフ参照]

洋式トイレ化の進め方については、老朽化によるトイレの故障や、身体面に配慮が必要な児童生徒に対応するバリアフリー化に伴って、身体的負担を軽減する際に改修を必要とするとの回答でした。市としても、洋式化推進の必要性は認識していますが、残念ながら現在の取り組みに関して積極的と言えません。思春期を迎える児童生徒が学校生活を健康的に通う為にも、また災害時の避難拠点として活用される事を考慮すれば、市民にとっても必要不可欠であり、計画性を持って可及的速やかに推進すべきです。

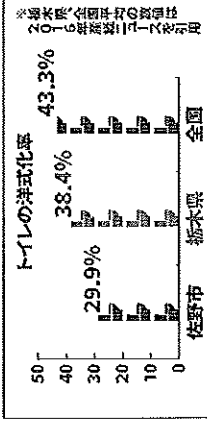
2. 今後の保留児童の解消策および
来年度に向けた取り組みについて
現在解消に向けて、希望する施設の範囲拡大や、保育休業延長について等の相談や次年度に向けて再申し込みの案内等を一人一人に寄り添った対応に努めているとのこと。

また、来年度の目標として待機児童ゼロの達成を目指すと共に、保留児童の縮減に取り組んでおり、施設整備として、幼稚園2園の認定こども園への移行の為に増築工事や、既存認定こども園の建て替えを予定、利用定員93人増の見込み、あわせて小規模保育園の募集を検討。0-2歳児は約90人の増となり、全体で約140人の増が期待されるとの回答がありました。

Checkpoint

～人材確保から始まる「質の高い」保育を目指す！～
待機児童や、保留児童を解決するためには施設整備も大切ですが、人材確保も欠かせないこととされています。当局側も問題認識はしており、市全体の保育士の就業改善に努めるとのことでした。

昨年の10月1日に保育士(臨時嘱託員)の報酬が改正され、僅かに報酬がアップしました。しかしながら現在、目に肉刺的な効果は上がっていないようです。私は追加策も検討すべきと考えます。さらに子ども達の街宣をした佐野市として、近隣地域で「最も子育てしやすい」と言われるような、質も高い保育実現にむけ独自の支援策を模索していきたいところです。



は言えません。思春期を迎える児童生徒が学校生活を健康的に通う為にも、また災害時の避難拠点として活用される事を考慮すれば、市民にとっても必要不可欠であり、計画性を持って可及的速やかに推進すべきです。

建設常任委員会での初質疑 補正予算の関係部分について

6月12日午前9時より建設常任委員会が開催され、付託された5議案を審査、うち1議案について質問致しました。なお、すべての内容をご覧になる場合は佐野市議会のホームページより、動画をご覧いただけます。[下段、黄色の付箋を参照]

1. 議案第91号平成29年度佐野市一般会計
補正予算(第2号)関係部分とは?
建築物等課の所管部分にあたり、平成29年度佐野市補正予算第14款「国庫支出金」2項「国庫補助金」5目「土木費」国庫補助金2,550万円(内訳:社会資本整備総合交付金850万円、防災・安全社会資本整備交付金1,700万円)の増額をお願いするものとの説明。内容については、公営住宅ストック総合改善事業において、国の交付金が取扱われたことに伴っての増額補正するものとのこと。

また歳出については、8款「土木費」5項「住宅費」/2目「住宅建設費」7,550万円(内訳:公営住宅ストック総合改善事業費7,550万円)の増額をお願いするものと説明がありました。
2. 算頭に於けるの調査と実際の費用について
公営住宅ストック総合改善事業費について市のホームページや、新任議員研修時に配布された平成29年度予算付表の主要な施策等及び参考資料を調べたところ、今年度行われる公営住宅ストック総合改善事業(予算1億2,540万3千円)については、石塚公営住宅99号、100号棟耐震補強・住戸改善工事に使われると記載されています。

議会中継の視聴方法について

- ①「佐野市議会ホームページ」と箱で検索する
- ②検索結果の一番上にある「佐野市議会ホームページ」をクリック。
- ③左側の「議会中継」をクリック。
- ④会議名から選択をクリック。
- ⑤「平成29年第1回定例会(6月)各常任委員会」をクリック。
- ⑥06月12日建設常任委員会をクリック。
- ⑦再生が始まります。

「ホイイッ!」
委員会質疑の模様



2017.6.12 建設常任委員会にて
“緊張”顔の理由は予言イモ動!!で

その事業に対して補正予算を増額されるわけですから、補正された予算はどこに使われるか初めに質問し、そこから内容を展開しようと考えて臨みました。しかし、事前の説明で、公営住宅の長寿化計画に含まれる、石塚公営住宅の屋上号水、奈良瀬公営住宅の給排設備改修工事、米山公営住宅のエレベーター改修工事が追加で行われるとのことでした。

あらかじめ質問する内容を決めていたものの質問する項目が減ってしまい動揺してしまいました。が、確認の意味も含めて、補正予算の増額によって事業自体の進捗が早まるのかを質問させていただきました。当然ですが、建築住宅課長より進捗は早まりまるとの回答をいただきました。

公営住宅ストック総合改善事業のキモ!

各修繕費や、改修住宅に住んでいる人にとって、耐震補強や、改修工事など必要な工事が補正予算により、費集の進捗がスピードアップすることは大変嬉しいことです。しかしながら他の委員も指摘した公営住宅の空室が目立つ現状があります。理由としては、住宅の老朽化等が考えられます。せっかく税金を投入しているわけですから、空室をういった住戸改善も求めたい。しっかりと空室対策の取り組みもしたいところでした。

常任委員会には質問があり、建てる場所や質問の順番も決まっています。当選回数と年数が多い(少)い順から順番に質問をします。
今回、選挙で初当選の私は一番最初に質問する事に!事前に選定の動画を視聴し、イメージトレーニングをして臨みましたが、いざ実践では声も小さく早口で... (原目) 次回はこの経験を活かし、聞きやすい質問を心がけます。

特集 初めての一般質問

若者に向けた情報発信の手段としてスマートフォンアプリの活用を提案

1. 「広報さの」を多くの人に届くようにするには、若年層に届く方法も考えなくてはならない。若年層に届く方法も考えなくてはならない。若年層に届く方法も考えなくてはならない。

一方で広報の内容は、全世代をカバーして、独身の方や若年世代向けの助成制度もあり、利用者が、そうした制度も多くの人に周知され、利用されなければ、どんなに市が優れた取り組みをしていても、効果も意味もありません。

そこで私は、他の自治体でも活用されている「スマートフォンアプリ」(以降スマホアプリ)を活用する方法を提案。ですが、現在多くの自治体でスマホアプリの導入が検討されるもの、導入に踏み切られていないのが実情です。理由は「運用コストが高い」と「運用実績が無いこと」にあります。

そこで私はその二つの課題をクリアしているスマホアプリを活用することを提案しました。

2. 必要な情報は自分で行くよりも届けてもらうほうが良いに決まっている

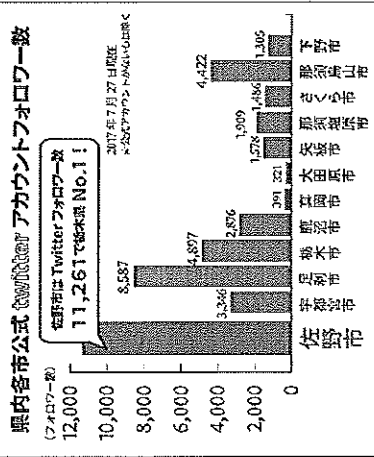
スマホアプリを活用する利点として、ひとつは、佐野市のネット利用者の多くはスマホを利用してのこと。(市の調査でも40%以上) 栃木県もスマホやタブレットの世帯所有率が過去に日本で1番になったこともあり、スマホアプリ利用者を多く見込めること。

ふたつめに、アプリにはプッシュ通知という通知機能があり、情報をアプリ利用者へ音や、メッセージでダイレクトに通知してくれる便利な機能があり得ること。

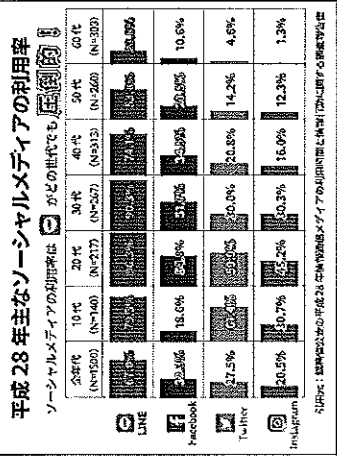
ホームページや広報誌の情報は、範囲自分から見いなくなってしまう。情報との距離があり、自分の手元に来てくれない。距離感がある。自分と距離感がある。自分と距離感がある。自分と距離感がある。

3. Twitterの情報発信力は県内No.1!

佐野市の公式Twitterをご覧になったことがあられるでしょうか? 実は下記グラフの通り、県内でもNo.1の情報発信力を誇っており、利用されている方はぜひフォローしましょう。佐野市の有益な情報がゲットできます!



また、下のグラフ(総務省のデータを見やすく編集)を見るとわかりますが、さまざまなソーシャルメディア※1がある中でLINEは全年齢層で圧倒的に利用率が高くなっています。他ソーシャルメディアに比べて使い方が若干異なるため、有効活用するには多少研究が必要ですが、Twitterの活用が上手な佐野市が導入すれば、さらに情報発信力が強化されることから提案。執行部からの回答は今後調査することとした。



シルバー世代も障がい者も誰でも見やすいホームページを!

続いて、佐野市のホームページについて質問。数年前からデザインが変わって、見にくいといった話や、ページが表示されないといった意見を、現状を把握することから始めました。

1. ホームページの現状と課題解決に向けた具体的な方法を提案
まず、佐野市のホームページを下記の方法で調査。把握できた課題解決に向けて具体的な提案を行う質問を致しました。

市ホームページのチェック項目

- ☑ 運用方法やコストについて
- ☑ エラー表示についての対処法
- ☑ シルバー世代や障がい者に配慮したデザイン設計か?

↓

実施されれば、知りたいことがすぐに「わかる」ホームページに!

はじめに、ホームページの運用コストから検証。月額およそ12,000円で運用され、更新作業は職員が担当。かつ、私は、WEBのデザインや運用を抑制してしまっています。佐野市ではおよそ12万人が暮らし、月に計算すれば、月額一人あたり0.1円です。これにプラス市外の方も見るようになるわけ。

「観光立市」を標榜するのであればもう少しお金をかけ、他自治体との差別化を図り、佐野市を訪れる人、そして佐野市に住む人に対して「くらし」に必要な情報を「分りやすく提供」すべきです。

次に、表示エラー問題について。ツール※2を使用した調査。エラー箇所は4000件以上あり、近隣自治体と比べてもおよそ2倍以上の量でした。公共団体ですから、より正確な情報を掲載すべきです。ただし、その多くは、コンテンツ管理システム※3(以降CMS)の未導入による、機械的なエラーが原因でした。エラー箇所を指摘し、データを提供した所、現時点でほぼ修正されていました。早急な対応ありたいところでしたが、他の要因でページが表示されないエラーについても提案すべくに実施されています。

最後にシルバー世代や、障がい者にも配慮されたデザインになっているか? ですが、総務省が対応するJIS規格の改正や、昨年4月に施行された障害者差別解消法にあわせて、公的機関がホームページを誰でも快適にみられるように配慮すること。そして、期限の目安として、平成29年度末までに速やかに対応するように求められています。

現時点では、市のページで配慮されていた点について申し上げれば、声の読み上げ機能、文字の拡大機能の2点でした。文字の拡大については機能しているものの、音声の読み上げ機能については、読み間違いが非常に多く、とても機能しているとは言えません。可能な限りの修正するよう求めました。ホームページ上にも最新の災害情報などが掲載されることを考えれば、誰でも情報取得できる配慮が必要と考えています。

2. 必要箇所にはヒト・モノ・カネを投資すべき

広報は、「観光立市」をPRする上で欠かせない役割を担っていることは間違いありません。多くの人に私たちの「佐野市」を知ってもらうには、どうすればよいか? 解決に向けての作業量と工程は膨大かつ長期にわたります。しかしながら市の広報を担当する職員はなんとたったの3名。同規模の自治体では、その倍の職員がいるようです。魅力ある情報を発信するには、人念を取付、正確かつわかりやすく情報を発信する必要があります。一方で、指摘したITC分野だけでも昨今の業務量は増え続けています。そこで私は現在の状況を踏まえ、適切な人員の配置と業務効率化の為にコンテンツ管理システムの導入を強く求めました。なお、このシステムが導入されない市は栃木県では佐野市だけのようです。もちろん、外部の観光客だけではなく、「くらし」の情報を発信強化することで、佐野市の暮らしやすさもPRできます。そのことにより、現世代の移住を促進し、少子化の抑制にも寄与してくれるはず。執行部からも前向きな回答を頂きましたので、今後も実施されるかどうかも含めて注視していきます。

※1 「くらし」の情報を発信強化することで、佐野市の暮らしやすさもPRできます。そのことにより、現世代の移住を促進し、少子化の抑制にも寄与してくれるはず。執行部からも前向きな回答を頂きましたので、今後も実施されるかどうかも含めて注視していきます。

※2 ツール※2を使用した調査。エラー箇所は4000件以上あり、近隣自治体と比べてもおよそ2倍以上の量でした。公共団体ですから、より正確な情報を掲載すべきです。ただし、その多くは、コンテンツ管理システム※3(以降CMS)の未導入による、機械的なエラーが原因でした。エラー箇所を指摘し、データを提供した所、現時点でほぼ修正されていました。早急な対応ありたいところでしたが、他の要因でページが表示されないエラーについても提案すべくに実施されています。

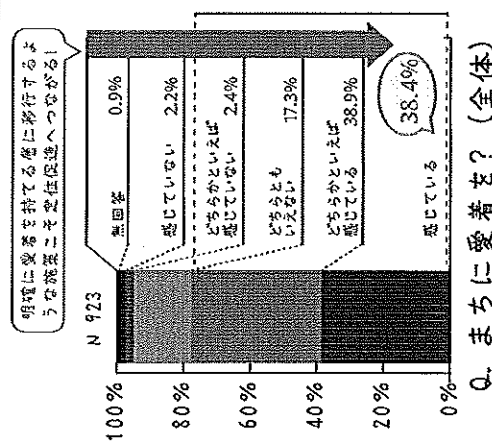
※3 ツール※2を使用した調査。エラー箇所は4000件以上あり、近隣自治体と比べてもおよそ2倍以上の量でした。公共団体ですから、より正確な情報を掲載すべきです。ただし、その多くは、コンテンツ管理システム※3(以降CMS)の未導入による、機械的なエラーが原因でした。エラー箇所を指摘し、データを提供した所、現時点でほぼ修正されていました。早急な対応ありたいところでしたが、他の要因でページが表示されないエラーについても提案すべくに実施されています。

1. アンケートの回答をデータとして活用する事は大切、問題はどうかだ

佐野市は計画を策定するにあたって、事前に市民の現状などを把握するため、アンケート調査を平成28年8月に実施しています。

調査対象は市民2,000名(18歳以上)なお、有効回収率は46.2%。(残念ながら回収率は高いとは言えませんが)私は特に基本構想の中でも触れている「まちへの愛着」について注目しました。

※どちらかといえば愛着があるも含めて考えていいの？



Q. まちに愛着を? (全体)

基本構想の中では、「どちらかといえば愛着を感じている」と答えた人も含めてまちへの愛着度は高いとしています。ですが、本当は多くの人たちに「どちらかといえば」ではなく明確に「愛着がある」と答えていただく必要があるのではないのでしょうか?

愛着度 (全体) 回答結果のまとめ

- アンケートの分析はより詳しく見ることが大切。どちらかといえば愛着を感じざるを計算せずにシビアな目線で見ざるべき。
- 多くの人に「明確」に愛着を感じてもらえるように移行してもらったための施策が必要。

2. 明確に愛着を感じてもらいたい
若者世代と市外県外出身者
さて、全体のデータのポイントは大きめに説明しました。細かいデータに焦点を当ててみます。

詳細データから読み取れること

- ・女性層は愛着を感じている人が少ない。
(男性 41.0%、女性 35.6%)
- ・年齢が高いほど、愛着の意思がある。20代と50代以上の差はなんと約2倍もある。
(50歳以上 59.2%、20歳代・未満 28.2%)
- ・市外の出身者の愛着度は3割以下
(県内出身者 22.0%、県外出身者 25.7%)

本来であれば、全データを掲載すべきですが、紙面の都合上、私が読み取った内容を箇条書きにしました。先に触れた定住促進のテーマにしているのであれば、愛着を感じて欲しい層が感じているという、非常に良い現実が見えてきました。私個人としては、今の愛着度に満足せずに、まずは今住んでいる方々に愛着を感じてもらおうことからスタートする。そこから「定住促進」に向け、若者世代の定住率、市外出身者の愛着度、満足度を向上させるべく、具体的な内容を先進事例を調査しながら、市に提案したいところです。

佐野市の特色と魅力の再確認と発信力の強化

佐野市の特色と魅力まとめ

1. 交通の要衝 (高速度が今後についに!)
2. 総合物流拠点として発展する可能性 (佐野インランドポートなど)
3. 水と緑に包まれた豊かな自然環境 (三森山、唐沢山、出流原天地など)
4. 農業を地域産業とし観光と有機的に結ぶ (いちご、かき菜、梨、柿の栽培が盛ん)
5. 人を集める観光資源がある (さのまる、佐野ラーメン、神社仏閣等)
6. 貴重な歴史・文化資源がある (徳原秀郷、田中正造、天明御物ほか多数)
7. 子育て環境が充実している (医療費補助現物給付、第3子以降への支援)
8. スポーツツーリズムを推進している (クリケットの国際大会やプロ公式戦等)

1. 特色と魅力の整合性は きちんととれているのか?

2面最後の部分で大雑把ですが、基本構想に記載された佐野市の特色と魅力とをまとめてみました。特に私が注目しておきたいのが、7. 子育て環境が充実している。8. スポーツツーリズムを推進している。この2項目についてです。自分なりに検証してみたいと思います。

子育て環境が充実したまちといわれて、「!?!?」と思われる方もいらっしゃると思います。私もそう思います。



保留児童を含めた待機児童問題はまだまだ解決していませんし、学童保育に預けられない問題や、私が生まれる前から変わらないうちが育ちやすいまを目標して「近い」学校があるのに行けない学校区の問題。もちろん、佐野市も医療費助成の現物給付、第3子以降保育料の無料化、出産に対する「子育て祝い金」の支給があります。しかしながら、近隣の市が同じことをしていたらそれは特色や、魅力とは言えないのではないのでしょうか?

もちろん、すぐには変えられないかもしれませんが、少しずつでも変えていかなくてはなりません。佐野市も計画のなかで課題と捉えていますから、積極的に推進するように色々な手法で働きかけます。

2. スポーツツーリズムの推進とスポーツ立市の「見える化」は?



スポーツツーリズムについても具体的な全体像が見えていないように感じられている方も多くあります。

日本唯一といわれる国際クリケット場をどのように活かして、収益に結びつけていくのか? 昨年は「女子ワールドT20東アジア太平洋予選」という世界大会も開かれました。今後、日本での競技普及を優先するのか? それとも、インバウンドと相乗効果を狙った斬新な施策を展開して先に経済効果を上げていくのか? 長期的視点、短期的視点どちらからも注視していかなくてはなりません。

もちろんスポーツツーリズムはクリケットだけのものではありません。野球や、サッカーをはじめ、様々なスポーツもスポーツツーリズムの役割を担っています。(佐野マラソン大会、石井琢磨杯、さのまるカップ等多数) 他のスポーツも後押ししながら全体のレベルも必要ではないでしょうか?

「スポーツする・観るなら佐野に限る」と言われるように計画を立てて進めるべきです。

田沼地区排水事業に補正予算 冠水問題の緩和実現に向けて

1. どもまんなが田沼付近の冠水問題の早期解決に向けて
建設常任委員会のピックアップは田沼地区排水事業の補正予算についてです。

現在も工事が進んでいますが、この事業が終了すると、現在付近で問題になっている道路冠水等の問題が解決するかもしれません。今回の補正は、工事方法の変更や、(本来は2車線を使って工事することを計画していたもの)が、交通の影響を鑑みて、佐野警察交通管理者と協議の結果、1車線のみで工事をすること、材料費の高騰などにより、追加で1,980万円の補正予算となりました。

工期も伸びるようですが、まずは計画通りに事業を完了して、その効果を検証したい所です。



赤い部分が工区間の予定

左地図写真写真は実際の補正予算の組み込まれた事業区域になります。おおよそ、吉水小学校に向かう交差点から北関道高速度入り口交差点までの産業道路には1車線は通行できませんので渋滞も予想されます。事故等に注意しましょう。